



特集 中毒 プライマリケアの

最前線

中毒治療の分野においても、いわゆるEBM (Evidence Based Medicine) の考え方が取り入れられ、初期治療のあり方が昔と大きく変わっています。中毒患者が来れば全例、胃洗浄、強制利尿開始という時代は終わり、臨床的に効果が期待される場合に限って必要な治療を行うという考え方が基本となりました。本特集では、中毒治療に関する基本的な考え方やプライマリケアで遭遇することの多い事態への対処方針について紹介します。

企画監修 水谷太郎 筑波大学大学院 人間総合科学研究科 疾患制御医学専攻臨床医学系 救急・集中治療部
構成 館野 綾 本誌

トキシドロームという考え方。—— | 16 |

水谷太郎

筑波大学大学院 人間総合科学研究科 疾患制御医学専攻
臨床医学系 救急・集中治療部

日本における中毒の発生状況。—— | 18 |

黒木由美子

財団法人日本中毒情報センター

日本中毒学会が推奨する標準治療。—— | 22 |

白川洋一

社会医療法人財団大樹会 総合病院回生病院

向精神薬中毒で注意すべきこと。—— | 24 |

上條吉人

北里大学医学部 救命救急医学

タバコ誤食のプライマリケア。—— | 26 |

千代孝夫

日本赤十字社 和歌山医療センター救急部